

思いやり一〇番  
主婦の運携ブレイに感謝状贈呈

去る5月8日那珂川警察署において、「危険歩行者思いやりコール運動」へ協力したとして小川地区在住の鈴木明美さんと橋本房江さんに感謝状が贈呈されました。

平日の午前中に自宅前の町道に座り込む老女を発見した鈴木さんとその連絡を受け一〇番通報をした隣家の橋本さんは「交通事故の未然防止につながって嬉しい」と話されていました。お二人の「思いやり」が見事なファイナルレーに繋がったのではないのでしょうか。



谷川小で最後の田植え

5月11日、谷川小学校の全児童39名が参加し、鈴木欣市さん（谷川）の田んぼで、恒例の田植えの体験学習が行われました。

長年にわたり指導して下さいました鈴木さんから「谷川小として、最後の田植えとなりますが、転ばないように頑張ってくださいませ」とあいさつがありました。  
児童の皆さんは、泥んこになりながら無事田植えを終え、保護者から差し入れのオニギリを頬張りながら、早くも秋の収穫祭を楽しみにしている様子でした。

小川地区の小学5年生らが  
那珂川へアユ放流

那珂川の水産業及び観光の振興、河川愛護の一環として5月13日、アユ放流が小川総合福祉センター付近の川岸で行われました。

当日は小川小、薬利小の児童48名が、地元漁協関係者と一緒に体長約12cmの稚魚約3,500尾、60kgを放流しました。



「西の四万十川、東の那珂川」と称され、アユの漁獲高日本一の那珂川に、今年も多くの太公望が訪れ、シーズン中は大いに賑わうことでしょう。



遊休農地活用で  
マコモタケの苗植え

町農林振興課と南那須農業振興事務所では、遊休農地活用の一環として、今年よりマコモタケの栽培を試験的に開始しました。

マコモタケとは中国・台湾原産のイネ科（多年草）の植物で、根に近い茎の部分（約25cm）を食用とし、アスパラのような食感で、生食・茹でる・炒める・焼く・炊く・漬けるなどあらゆる料理方法や味付けが可能。また、食物繊維が豊富で低カロリー、浄血作用もある健康野菜でもあるため、今後の普及が期待されています。

小川中卓球部女子が  
春の大会で大活躍

小川中学校卓球部の選手が春の各種大会で日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、上位入賞を果たしました。

川上愛可主将からは、「夏の大会では、再び県大会上位入賞し、関東大会出場を目指して頑張ります」と力強いコメントをいただきました。  
春の大会結果

- 北関東中学卓球大会 第3位（女子団体）
- 県北中学卓球大会（個人） 優勝 川上 愛可
- 準優勝 豊田真望子
- 朱雀杯卓球大会（選抜46校） 第3位（女子団体）



祝100歳  
塚原ヒデさんに  
祝い金と花束を贈呈

5月25日に100歳を迎えた塚原ヒデさん（芳井）を川崎町長が訪問し、長寿を祝いました。

塚原さんは、養蚕を営むご主人を支えながら、7人のお子さんを育て上げられました。とにかく働き者で、ご主人の手伝いはもちろん、晴れの日には畑仕事や草むしり、雨の日には和服を仕立てたり、子どもたちの洋服を編んだりと常に体を動かしていたそうです。

ご家族の方は、こんなおめでたい日が来て、とても嬉しいと話されていました。



前田建材工業（松野）に  
資源エネルギー庁長官表彰

前田建材工業株式会社松野事業所が全国優良採石事業所として、業界最高の栄誉である資源エネルギー庁長官表彰を県内事業所としては初めて受賞しました。

5月25日に川崎和郎町長へ受賞報告のため、笹沼春男所長が来庁、「今回の表彰は当事業所が災害防止及び環境保全等を積極的に実施、県の定期検査でも常に最高評価を獲得し続けており、また、受刑者技術養成の現地研修の受け入れなどの社会貢献を長年してきた結果であり、今後引き続き努力して参りたい」と語ってくれました。

馬頭高校水産科生徒が  
カヌーで那珂川下り

5月28日、馬頭高校水産科の総合実習の一環として、3年生21名が参加し、カヌーによる那珂川下りを実施しました。この実習は、今年で18回目、今の3年生が生まれた年から実施されてきました。

今年は、久那瀬地内の武茂川との合流地点から茨城県境の新那珂川橋までの約35kmを一泊二日の行程で下りました。生徒の皆さんは、普段見ることのない川面からの景色を堪能しながら、仲間と一緒に元気良くカヌーを漕いでいました。



南那須地区認定農業者  
表彰

5月25日、県南那須庁舎にて、南那須地区認定農業者表彰式が開催され、当町からは青木康彦さん（三輪）が表彰されました。

当表彰は、農業経営の改善に積極的に取り組み、地域農業の振興や活性化に寄与する意欲と能力のある優良認定農業者を表彰するもので、青木さんは牛の畜産（繁殖）において、子牛育成技術の飼養管理向上、経営の合理化を図り、和牛部会の幹事としても部会員の生産支援を努め、また、後継者育成として研修生の受け入れを積極的に実施してきたなどの功績が認められ、表彰されました。

下芳井はたるの会  
はちみつ採取

下芳井はたるの会では、農地水環境保全向上対策事業の一環として、遊休農地に咲いた花を有効活用しようとミツバチの巣箱を設置し、5月31日に第1回目のはちみつ採取をしました。

設置した2つの巣箱には約4万匹にミツバチが集まっており、巣箱から慎重に取り出した蜜棒を遠心分離機にかけ、一升瓶3本分のはちみつが採れました。

れんげ草やおだまき草の花から集められたはちみつは香りもよく、味も濃厚とのこと。この日採取したはちみつは、地区の全ての家庭に配られたそうです。

